

木材価格市況標準相場

令和8年5月7日

東京木材問屋協同組合
価格市況調査委員会

○今月の価格動向

(1) 値上げ品目	15
南洋材・中国材	1
米材役物製品	1
米材製品	3
北洋材・北欧材	1
合板	9
(2) 値下げ品目	なし

○今月の市況動向

4月の荷動きについては、3月より動きが見られたとの声が多く聞かれたものの、全体的には低調な状況であった。そのような中、接着剤を使用している合板製品はもちろん、接着剤を使用していない輸入製材品も含め、15品目が値上がりとなった。

(国産材)GW前の駆け込み需要が余り感じられなかった要因として「昔とは異なり、大工さんも大型連休中に休暇を取る時代になったのではないか」との意見もあった。国産材においてもコスト高は深刻な状況にあり、製品価格への転嫁は急務となっている。

(輸入材)入荷量の減少により、東京木材埠頭の在庫量は減少している。然しながら、原木価格の高止まりや原油高、円安等の影響により、今後も入荷量が大幅に増加する状況にはないものと思われる。尚、中国産集成材については、現時点で接着剤に関する問題は報告されていない。

(合板)先月に続き、全品目で値上げとなった。国内針葉樹合板では、接着剤問題による減産が現実視されたことで仮需が発生し、受注を停止するメーカーも多く見られた。更に、減産に伴うコスト上昇により、今後も値上げが続くものと思われる。輸入合板においても引き合いは多く、港湾倉庫の在庫は急激に減少している。現地での値上げも継続しているが、価格を受け入れたとしても、中東情勢次第では希望通りに入荷するか不透明であるとの報告もあった。